

「かえっこバザール」で、
あそばなくなったおもちゃをかえっこしよう！

「かえっこ」はこどもたちが主体となって地域のさまざまな場所に活動をつくるアートプロジェクトです。アーティストの藤浩志さんが考案し、全国各地で開催されています。かえっこではこども通貨「カエルポイント」を使って、活動とこどもたちをつなぎます。遊ばなくなったおもちゃをカエルポイントに交換したり、そのポイントでおもちゃを持って帰ったりすることができます。おもちゃを持っていなくても、開催中の芸術祭展示作品をみてまわったり、お手伝いに参加することでポイントをもらえます。開催時間中はいつでも参加 OK！ 何歳でも歓迎です。ぜひお立ち寄りください。

※就学前のお子さんは保護者同伴でご参加ください。

藤浩志 アート作品展示

かえっこバザール会場すぐそばのセンシティタワー（南アトリウム）では、「かえっこ」考案者であるアーティスト藤浩志さんが「かえっこバザール」で集まったおもちゃで制作した「33年後のかえる」を展示しています。（9月19日～11月24日 9:00～18:00 定休日なし）



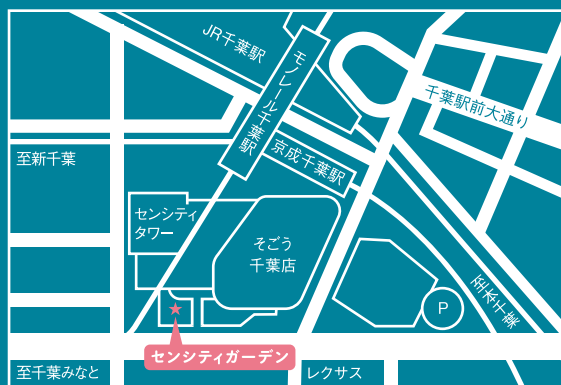
藤浩志さんプロフィール

アーティスト。1960年生まれ。京都市芸術大学卒業。同大学大学院を終了後、1986年から2年間、青年海外協力隊員としてパプアニューギニア国立芸術学校に勤務し、美術を指導。自宅に眠っている不要なおもちゃを持ち寄り交換する「かえっこ」プロジェクトも長年にわたって行ってきた。2014～2016年まで十和田市現代美術館館長。現在、秋田公立美術大学美術学部美術学科教授。



会場近くで開催中の千葉国際芸術祭の展示作品をまわってカエルポイントをもらおう！

- ①藤浩志（センシティタワー南アトリウム） ②グレゴリー・マース&ナヨンキム（センシティガーデン）
③檜皮一彦（センシティガーデン） ④アレクセイ・クルプニク（そごう千葉店 正面入口前）



千葉国際芸術祭2025

かえっこバザール in そごう千葉店

会場：そごう千葉店 地階＝センシティガーデン

日時：2025年11月15日（土）12:00～14:30 ※雨天の場合11月16日（日）に延期

参加費：無料・事前申し込み不要

イベントの広報や記録のため、当日、写真・動画撮影を行います。また、報道機関による取材・撮影が入ることもあります。撮影した写真・動画は、千葉国際芸術祭のウェブサイト、SNS、パンフレット等の広報媒体や、テレビ、雑誌等のメディアに掲載される可能性があります。あらかじめご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。



千葉国際芸術祭 2025
Chiba City Arts Triennale 2025
ちから、ひろく。

